

市内活動グループ訪問記

クリスマス

社会福祉法人「らっく」



前日の雨が嘘のように晴れ渡った12月9日(木)広報委員一人でおじゃましました。場所は北里通りの麻溝台入口信号から通称たまご街道に入り、2つ目の麻溝台の丁目信号から相模原公園方向へ、角のコンビニの並びにあります。

理事長の鈴木純恵さんと施設長の鈴木拓也さんにお話を伺いました。開所は2009年で少しずつ地域に根を張り寄りかかれる大樹になるよう今までもこれからも努力を重ねているそうです。

多機能型事業所として就労移行支援(2年間という期限を設けて、一般就労を目指す事業)・就労継続支援B型(期限を設けずに、生活リズムをつけるなど、個々の目的に合わせて支援する)・生活介護(介護が必要な方に対する通所サービス)の3つを運営しています。定員は60名。1日平均50名くらいの方が利用しています。1番は精神に障害のある方への支援ですが難病や発達障害、高次脳機能障害の方の支援もしています。



理事長の鈴木純恵さん

ラストワンAMとチャリティショップらっくを運営して障がい者の方が、働きながら一人ひとりが「コツコツ」ステップを踏んで、出来ることを少しずつ増やして行って生きがいを持てるように就労を支援しています。利用者の立場に立ったサービスを提供して「出来る」という強みをみつけ



イラストレーターの中野松史さんの作品。らっくの表玄関風景

てデザート作り、PC・事務作業、清掃、洗濯、サポートなど利用者の持つ能力に合った作業を利用者中心で行えるように取り組んでいます。

らっくの開所については理事長である鈴木純恵さんが北里大学病院精神科の看護師として勤務していたとき、患者さんが病院を離れたあとの行き場所、その人に合った働き場所として精神障がいの方の通所施設を作りたいという思いが強くなったそうです。立ち上げるのは大変でしたが地域との接点として食事の出来るころにチャリティショップを作りました。お客さんからは「イキイキしているね」「雰囲気がいね」という声も聞けるそうです。

心がけているのは常に「ご利用者の視点でものを見ること。利用者が動きやすい仕組みにすること。その人のペースで作業が続けられるようにすることなどです。

最後にチャリティショップを覗かせていただきました。寄付して頂いた衣料品や日用品など様々な商品が所狭しと置かれ格安の値段で販売されています。不要になった品物を持ち込んで来た方もいたりして店内は賑わっていました。

て自信が持てるように就労を支援しています。ラストワンではフロアーとキッチンに分けて作業を担当し、チャリティショップでは管理・接客・販売などに分担して作業をします。また、店舗を支える裏方として



所狭しと並んでいる販売品。クリスマスのディスプレイも見えます。

皆さんも捨てがたいと思われるような不用品がありましたら持ち込んで寄付してみてください。そしてラストワンもお昼時で混雑している様子でした。お忙しい時間におじゃまいただきありがとうございます。(石関、植野)



*社会福祉法人 らっく

理事長 鈴木純恵

TEL 0427-053628

相模原市南区麻溝台2-6-31

TEL 0427-053621

ボランティア協会も

「さがみはらSDGsパートナー」として登録されました!

相模原市が、SDGsの普及啓発に取り組んでいる企業・団体等を「さがみはらSDGsパートナー」として登録する制度で、ボランティア協会もパートナーとして登録されました。

11月に、協会の活動をまとめた登録申請書を提出し、12月10日に承認され、市のホームページに公開されています。

https://sdgs.city.sagamihara.kanagawa.jp/partner/ (業種別検索の「NPO・NGO」からご覧いただけます) *詳細は来月号に!

